

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつながりを深めていくことが必要。今は限られた(回数)になっている。場所、車の手配が必要となるので調整を早めに行っていく	地域の方々との交流の機会が少しでも増やすことができる	①今まで参加できた地域活動は継続して参加②地域のサロン等にも参加③いきいき元気塾、てくてく体操など紀の川市の事業にもできる限りホームの全員が参加。④個人の楽しみとして買い物など計画的に行う	1 2ヶ月
2	33	看取りの経験(1例)をしたが、今後も本人や家族の希望を聞き入れ検討しながらできる限りニーズにこたえていけるようになる。看取りに関する勉強会の継続が必要	介護の質の向上を図る 看取りが自然な成り行きととらえながら日々の生活の充実を図る(入居者、家族)	①看取りに対する勉強会の継続(全員での話合いの時間を増やす)②本人、家族関係者等の十分な話合いを持つ③家族との連携(信頼関係を保つ)④介護スタッフ1人1人の意識の変容成長	1 2ヶ月
3	35	自然災害が多くなっている。いかなる時も安全に留意し入居者を守る体制がとれる事が求められる。全職員が同じ行動がとれる。	安全に避難できる(避難誘導) 疾病に留意できる 市との連携がスムーズに運ぶ	①計画的な防災訓練の実施(年2回)と勉強会も加えていく②家族様にも訓練についての説明、理解を得る。③備蓄の期限等チェックを行い常に対応できるよう体制を作る④関係機関との連携がスムーズにいくよう日頃よりマニュアルをみて理解を深める。	1 2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。